



# 豊東小だより

令和元年9月2日 9月号  
練馬区立豊玉東小学校  
校長 梅津 靖子

## めあてに向かって全力で

校長 <sup>うめ つ やす こ</sup> 梅津 靖子

44日間の夏休みが終わり、いよいよ2学期の始まりです。第一町会の盆踊り大会から始まった夏休みはどうだったでしょうか。家族の一員として、また、地域の一員として様々な経験を積むことができたのではないのでしょうか。何よりも、子どもたちが元気に登校できていることが嬉しいことです。1学期を改めて振り返り、2学期は何ができるようになりたいか、どんな力をさらに伸ばしたいのかを一人一人が考え、めあてに向かってコツコツと取り組むことができる2学期であってほしいと思っています。今の自分の力ではすぐにはできないけれど、続けて頑張ることで、きっとできるようになるというめあてを決めて、2学期をスタートしたいものです。

2学期は、運動会や展覧会、65周年の記念集会など大きな行事が予定されています。これらの行事は、学校生活の節目、成長の節目となるものでなくてはならないと考えます。

9月の半ばから、10月5日の運動会に向けた練習や活動が始まります。今から楽しみにしている児童も多いことでしょう。運動会の時期が来ると、いつもある児童のことを思い出します。6年生の担任をしていた時のことです。6年生の運動会では、どうしても応援団に入って頑張りたい。絶対に応援団になりたい。と、6年生になったときから話していました。しかし、応援団を希望する児童は多く、残念ながら応援団に入ることはできませんでした。悔し涙を流したのは言うまでもありません。その後の話し合いの結果、用具係の仕事を受け持つことになりました。当初は、応援団に入れなかったら運動会は頑張る気持ちになれないとまで言っていたのですが、用具係として働きぶりは、他の児童の意欲を掻き立てるほど素晴らしいものでした。

運動会では、高学年の児童が様々な仕事を受け持ってその運営の基盤を支えます。どの係でも、自分の仕事に責任をもって取り組む時、運動会は勝ち負けだけではない達成感を全校児童で味わうことができます。高学年の働く姿は、下学年の児童の目標になるからです。自分たちも高学年になったら・・・と感じながら運動会に参加します。大きな行事は、一人一人が自分の行動に責任をもって取り組み、頑張っただけでよかったと皆でその喜び分かち合えるものにしたいと思います。また、互いによさに気付き認め合えるよい機会でもあります。もちろん、行事が全てではありませんから、日々の学習や清掃や係活動、外遊びなどをおろそかにするようなことがあってはなりません。負担過重になっていないか、過度のプレッシャーをかけていないかなど、児童の様子をよく見ながら、取組の過程を大切にす指導を心がけていきます。

さて、運動会が終わって、その児童に用具係としての頑張りは素晴らしかったね。と、声を掛けました。用具係が頑張らないと皆が困る。だから、一生懸命頑張ったよ。応援だって、応援団に負けないくらい頑張ったよ。と、笑顔で誇らしげに話してくれました。自分のためだけでなく、相手の立場に立って仕事に取り組むことの大切さに自らの実践を通して気付いていることが、担任としても嬉しい気持ちでいっぱいになったことを覚えています。

保護者・地域の皆様には、夏休み中、様々な場で子どもたちへのご指導をいただき感謝申し上げます。今後も、社会に出るまでに、大人は、子どもたちに何を教えていくべきか、よりよい人間関係を構築するために、してはいけないこと、すべきこと、気付くべきことはどんなことなのか。学校でも家庭でも地域でもという視点で指導にあたっていきたいと思います。大人が手本を見せ、このようにやってみなさいと促し、できたことは小さなことでも褒める。(8月5日のHP・学校日記の4年生のリコーダー指導のようですね。)このような取組に、どうぞご協力をお願いいたします。

学校は、エアコンや扇風機、廊下やトイレ、水飲み場までピカピカです。用務主事さん方が、暑さ厳しい夏休みの間に、皆が気持ちよく2学期が始められるようにと、修理したり磨いてくださったりしたおかげです。自分たちの学校生活を支えてくださっている方々がいることに気付くとともに、自分がすべきことに全力で取り組む決意を新たにしたいと思っています。